



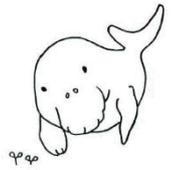
ジュゴン Vol.124

ちゃんぷるニュース

SDCC 2022. 9. 27
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・デニー知事再選
- 国際：米議会へ書簡送付
- 4/5 東恩納名護市議も当選
- 宮城アキノさんセミナー
- 6/7 交流広場
- ホープスポットを広めよう
- コラムー歌碑建立と県知事選



今年の6月22日の「月桃」歌碑除幕式に合わせて、辺野古、伊江島、南部の平和の礎・魂魄の塔・喜屋武岬を訪れました。思い出しながら平和運動のことを考えています。

設計変更の「不承認」にもかかわらず、辺野古新基地建設の強行は続いています。ウクライナでの戦闘は止まらず、核軍縮は後退し、日本政府は、原発の新增設を言い出しました。これほどの暑さや大雨による災害にもかかわらず、気候危機への対策は進みません。まったくどうしたものかと思いません。

ジュゴンと「月桃」と平和運動

伊江島で農民学校を作ろうと、少しずつ土地を手に入れ、木を植えて準備をされていた阿波根昌鴻さん。それが戦争で一変します。一人息子を亡くし、土地は米軍基地に取られてしまいます。戦後、「土地を取り戻す運動」を続けられ、その非暴力の抵抗運動で、沖縄のガンジーと称されました。「世界中から戦争がなくなるまで、平和運動はやめられない」と。人間のおろかさとかくましさを展示したという「反戦平和資料館・ヌチドゥタカラの家」は何度も訪れたい場所です。

SDCC 共同代表の豊さんは、音楽の力で平和の世直しを続けられています。77年前の戦争で西原町では住民の47%が犠牲になりました。その地に、「月桃」歌碑が建立されたのです。除幕式では歌碑に込められた平和への願いが十分に伝わってきました。沖縄戦を忘れてはいけません。「月桃」の歌詞を噛み締めています。

絶滅しそうなジュゴンやヤンバルクイナやノグチゲラをはじめ、たくさんの生きものを育てている辺野古の海とやんばるの森。それを壊しているのは人間。せえーので、最初からやり直せたらと思うけれど、そんなことは叶はずもない。

瀬嵩の浜の入り口に、新しく HopeSpot (希望の海) の看板が出来ました！ジュゴンと生きものたちのイラストが素敵な看板です。辺野古新基地建設を止めよう。ジュゴンの棲む海を取り戻そう。「月桃」歌碑と HopeSpot の看板が、平和と自然保護の観光スポット (学びの場) になりますように。

(関西 池側恵美子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



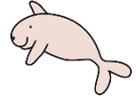
名護市瀬嵩の浜に設置された「ホープスポット」の看板 (6、7面)。



東恩納琢磨名護市議を応援に来た玉城デニー知事 (2面、4面)。

辺野古断念を求める民意が勝利した

～沖縄県知事選挙～



9月11日辺野古反対の玉城デニー知事が再選しました。7月伊波洋一参議員の再選に続くものです。台風のため低い投票率でしたが、6万5千票もの大差でした。朝日新聞などの合同出口調査では、玉城知事は支持層の9割、無党派層の62%の支持を獲得。佐喜真候補は自民66%、公明62%の支持層しか固められませんでした（9月13日朝日新聞）。佐喜真候補が前回と異なり「辺野古移設の容認」を明言することで「観光産業に1千億円の支援」を訴えました。7月参議院選挙でも自民党候補は同様の争点を設定し敗北しました。政府自民党は辺野古新基地建設の遅れに焦っているのです。そのうえ、統一教会問題は自民党に逆風となり、参議院選挙に応援に来た岸田首相や菅前首相は顔を見せませんでした。勝利の要因は、日常的な反戦平和運動と沖縄の自然を守ろうとする県民の思いです。悲惨な沖縄戦の体験や琉球文化を伝承する沖縄タイムス、琉球新報が市民の闘いを報道しているからです。

岸田内閣は「台湾有事は日本の有事」と対中国の日米共同作戦の演習や、南西諸島ミサイル基地化を進めています。また、基地、原発周辺での市民運動を規制する土地利用規制法の全面施行を準備しています。だから、沖縄県は住民を県外

避難させる為に、2022年度末には独自の図上訓練を予定し、「住民避難には国の積極的な関与が必要だ。無責任だ」（県関係者）と批判しています（沖縄タイムス7月2日）。県民の不安と怒りが高まっている中で知事選挙は闘われたのです。

当選後、デニー知事は「2期目は国連や国際社会にも辺野古の新基地建設がいかに不条理で不平等であることを訴えていきたい」と決意を明らかにしています。9月7日、87市民団体（国内52、海外35）は米国連邦議会上下両院の軍事委員会32人に「辺野古移設の中止と普天間飛行場の閉鎖を求める書簡」を送りました。連邦議会議員が軟弱地盤やジュゴンなど環境問題で辺野古新基地建設が遅れていることを認識し、国防総省に問いたすことを求めたものです。国際自然保護連合（IUCN）で採択した4度のジュゴン保護決議や、ジュゴン訴訟で勝ち取った「米軍基地が与える影響は米連邦裁判所で提訴できる」権利、そして沖縄県の設計変更不承認をふまえて、米国連邦議会が米国政府に事実を問いたすことを要請する段階にまで到達したのです。ジュゴンの棲む Hope Spot（希望の海）を守る運動を世界に広げ、日米両政府を追い詰めましょう。



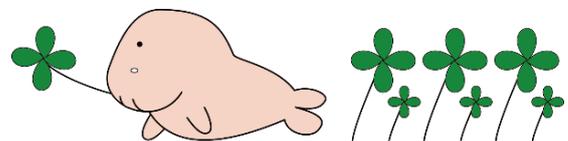
ウクライナ侵略と気候変動対策



米国、日本などG7はロシアのウクライナ侵略の制裁として、ロシアから石油や天然ガスの輸入禁止を決めました。この結果、物価高で私たちの生活は厳しくなっています。今年5月、経済産業省はウクライナ侵略を口実に「再エネ、原子力などエネルギー・安保及び脱炭素の効果の高い電源を最大限活用する」（第6次クリーンエネルギー戦略 p6）として、「原発の再稼働」（同p14）を進めようとしています。これは、昨年10月に閣議決定した「再生可能エネルギーは主力電源化、…最優先の原則で取り組み」（エネルギー基本計画 p34）に反しています。当時、「原子力発電に対する不安感などにより社会的な信頼は十分に獲得されておらず」（同p35）と原発再稼働に消極的だったからです。日本よりロシア制裁で大きな影響を受けているヨーロッパ諸国は5月18日「リパワーEU」を決定し、脱原発目標を取り下げず、省エネ目標と再生可能エネルギー目標を引き上げる気候変動対策を進めています。日本の

再生可能エネルギー2030年電源構成目標は36%～38%で、ドイツの80%に比べれば低すぎます。3・11福島原発の悲惨な被害を振り返り、今こそ脱原発、再生可能エネルギーに舵を切る時です。戦争は最大の環境破壊です。ウクライナ戦争即時停止をロシア、ウクライナに働きかけるべきです。軍産複合体や国際石油資本を儲けさせるのではなく、人々の命と暮らしを守る世界をつくるべきです。

8月24日、岸田首相は原発の新増設の検討を指示しました。
（事務局 蛭川義章）



国内外 87 市民社会団体が米連邦議員へ書簡を送付

国際担当からの報告

2022年9月7日、沖縄・日本、そして海外の87の市民社会グループ／団体は、米国連邦議会上院・下院軍事委員会議員 32名へ書簡を送付しました（沖縄・日本から52グループ／団体、そして海外から35グループ／団体）。書簡は、辺野古新基地建設の中止と普天間飛行場の閉鎖を求めるものです。書簡の送付は、琉球新報や沖縄タイムスでも記事になりましたが、米国の有力調査報道メディア The Intercept も大きく取り上げてくれました。

今回の書簡では、玉城デニー沖縄県知事の辺野古新基地設計変更の不承認を支持する形で、軟弱地盤や基地建設による環境への影響についての日本政府の調査や米政府への情報提供の問題を、米政府の情報を引き合いにしながら浮き彫りにしています。また普天間飛行場における、落下物／墜落、騒音、PFOA/PFOSの問題を指摘し、なぜ普天間飛行場の一刻も早い閉鎖が必要なのかを訴えています。そしてなぜ日本政府の主張する「辺野古が唯一の解決策」が成り立たないかを説明しています。言い換えれば、日本政府が米政府に提供してきた情報や見解に対抗する、市民社会からの情報提供です。

87市民社会グループ／団体には、名護市や宜野湾市で長年活動してきた平和、環境、人権に関わる市民グループをはじめ、米国のアジア系労働者の労働運動を率いてきた Asian Pacific American Labor Alliance (APALA)、米国最大規模の女性平和団体である CODEPINK、そして「ジュゴン訴訟」で共に戦ってきた CBD（生物多様性センター）など連邦議員に影響を持つ団体も含まれています。賛同への呼びかけが2週間足らずながらも、多くのグループ／団体が賛同してくれたことは、これまで国内外の市民社会がこの問題に注目し解決を望んできたことを意味します。SDCCのネットワークも賛同グループ／団体の拡張に重要な役割を果たしています。

送付の対象となった32名の連邦議会軍事委員会の議員は、軍事の問題に加えて、他の委員会や会派を通して、環境保護、海洋保護区の設置、航空機騒音の問題、PFOA/PFOSの問題に取り組んできた議員達です。日本の国会を基準にすると、どうしても議会軍事委員会は国防総省の政策を追従、支援するものというイメージになるとい

ます。しかし米国においては三権分立が明確であり、軍事委員会も国防総省のチェック機関としての役割が強調されています。書簡では、議員らが米国内での取り組みで示している誠実さと決意を持ち、自らの知識と経験を生かして、辺野古新基地建設の中止と普天間飛行場の閉鎖に向けて取り組むことを期待する、と訴えています。

日本政府の主張する「辺野古が唯一の解決策」は、民主主義の原則、法の支配、環境正義、そして土木工学の常識に背くものであり、辺野古・大浦湾の世界に誇れる生物多様性豊かな環境を破壊し、普天間の危険を放置するものです。また国際政治や戦略的な視点からも、いつできるかも分からないような基地を戦略的に位置付けることはできないはずで、今後、辺野古新基地建設や普天間飛行場に対して米国の議員が「問題だ」と声を上げるように、この書簡の送付を更なる取り組みに繋げていきます。なお書簡送付後も Veterans For Peace National など著名な団体が賛同を表明しており、更に心強いことは米国の州議会の議員からも書簡への賛同が表明されています。ちゃんぶるニュースの読者には、この書簡をめぐる今後の動きに注目して頂きたいと同時に、ぜひ書簡を読んで頂きたいと思います。

(国際担当 吉川秀樹)



米議員への書簡送付の意義を説明するオキナワ・エンバイロメンタル・ジャスティス・プロジェクトの吉川秀樹代表（右から2人目）ら＝7日、県庁

書簡送付後の記者会見 (PHOTO 沖縄タイムス)



名護市議選に
取り組んで

東恩納琢磨さん当選！



今回の選挙は厳しい選挙でした。基地建設反対派の現職2人がやむを得ない事情で引退。基地建設反対派の立候補者13人すべてが当選しても市議会では「13対13」。今まで「統一ピラ」を準備し基地建設推進派を批判したのに、今回はできず立候補者個々の闘いになりました。

告示日の4日、台風が直撃し出陣式もままならず。私たち支援メンバーは厳しい風雨の下、団地へのチラシ入れを強行。準備体制が遅れていたからです。後援会は地元の東海岸を中心に、私たち4人は西海岸を中心に選挙活動を取り組みました。朝立ち、選挙カーでの宣伝、チラシ入れ、デニー演説会への参加など。選挙活動最終日の打ち上げ式は東海岸の瀬嵩で。後援会員と私たち17名の夕立ちは壮観でした。打ち上げ式では稲嶺前市長が「私の選挙で味わった悔しさを二度と味わわないように、最後の追い込みを」と激励。私は「辺野古大浦湾が世界で有名になったのは、琢磨さんを中心にした皆さんの活動です」「IUCN 決議やジュゴン訴訟、沖縄県の設計変更不承認で日米両政府を追い込んでいる。琢磨さん、デニー知事の再選を」と激励しました。

開票日の夜、東海岸の瀬嵩に集合。開票の途中経過が11時までで発表されない異常な事態。12時20分過ぎ、開票91%でタクマ候補次点の608票。上位が685票。差が開きすぎと落胆。時間が遅いのでお開きに。午前2時過ぎに最下位当選の連絡。びっくり仰天、よかった…。1月の名護市長選で落選した岸本洋平候補はダントツの2996票。スゴイ。しかし、基地建設反対派の2人が落選。市長派対我々は「15対11」。市民運動こそ重要。頑張りましょう。
(事務局 蛭川義章)



玉城デニー知事と固い握手をするタクマさんのチラシ

報告

世界自然遺産やんばるの森に今も残る軍事廃棄物 第2回オンラインセミナー 宮城アキノさんに聞く



7月30日、第2回オンラインセミナーを開催しました。今回の講師は、宮城アキノさんです。「世界自然遺産やんばるの森に、今も残る米軍廃棄物」と題してやんばるの米軍廃棄物の現状とご自身の在宅起訴についてお話を伺いました。

はじめに沖縄防衛局作成の「北部訓練場引き渡し式典」のビデオを観ました。これは、「支障除去アピール」ビデオで、北部訓練場は良好な土壌と水質が確保され、貴重な自然環境が維持されていることを強調していますが、米軍廃棄物についてはまったく触れられていませんでした。

アキノさんは、返還された北部訓練場内の米軍廃棄物について調査し、薬莢・空砲・照明弾・野戦食などが廃棄されていること、返還後も訓練が行われている可能性があることを確認してきました。軍事基地は、返還後も住民や生物などに大きな問題を残していると訴えています。

2021年7月26日、ユネスコがやんばる地域を世界自然遺産に登録したが、登録文書やIUCNの評価書には米軍廃棄物について触れられていません。次回の世界遺産委員会でこの問題がどう扱われるのか？きちんと対応させる必要があります。

これまでアキノさんは、米軍廃棄物の銃弾を基地ゲート前にばらまくなど「事件」を5回おこしています。理由は、米軍廃棄物について捜査して実情を明らかに欲しいからです。在宅起訴された件については10月ごろに公判予定とのことです。

米軍廃棄物問題については、多くの団体・個人がアクションを起こしていくことが重要ということが確認されました。
(首都圏 三村昭彦)



オンラインで講演する宮城アキノさん

官邸前緊急行動

辺野古新基地反対！国葬反対！



<デニーさんが勝ったぞー！・デニーさんが勝ったぞー！>のコールで集会は始まりました。一週間前の月曜日、防衛省申し入れ・抗議行動の時に、沖縄一坪反戦地主会・関東ブロックから「選挙結果がどちらでも辺野古新基地建設反対の私たちの立場は変わりません。知事選の翌日午後6時半から官邸前で基地建設反対の抗議行動を行います」と、アナウンスがありました。

緊急行動で、どうなるのかとも思いましたが、集会の出足は早かったです。1時間前から辺野古新基地反対！土砂投入をやめろ！国葬反対！のバナーが掲げられ、「座り込めここへ」「月桃」の歌が流れていました。

マイクを握る人の声も弾んでいます。オール沖縄から高里鈴代さんのメッセージが官邸前に響き渡りました。「デニーさんの圧勝ですよ！全国からの温かい支援をいただきました。感謝いたします。共に喜びましょう！」沖縄の民意は、これで4回示されたこととなります。「基地経済からの脱却、基地負担の軽減」を要求した故翁長知事を継承する玉城デニーさんの選出、県民投票、そして今回の玉城デニー知事

の再選です。

自衛隊のミサイル基地建設が進む中、沖縄の民意は「うちな〜、戦場ならんどう〜」を選んだのです。私たちはこの選択を心から感謝し、勇気を受け取りました。どんなに微力でも叫び続けよう。「武力で平和は作れない」「子らの未来をこわすな」「地球をこわすな」と。

官邸前集会は80人の参加で、女性たちのカチャーシーで、終わりを盛り上げました。（兼杉美恵子）



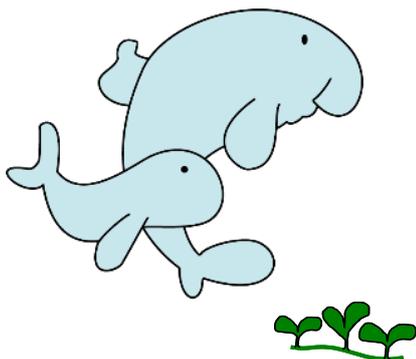
官邸前に集まった仲間

記者会見

米国連邦議会に書簡で「辺野古の中止、普天間の閉鎖を」要請

9月7日沖縄県庁で記者会見しました。地元2紙は「新基地反対書簡送る 87 団体が米議員 32 人へ」（沖縄タイムス 9/8）、「新基地中止米に訴え OEJP 上院・下院議員に書簡」「国内52、海外35 団体賛同」（琉球新報 9/9）と報道しました。記者会見では OEJP 代表の吉川秀樹さんから「沖縄県的设计変更不承認にもあるように基地建設の問題点、軟弱地盤やジュゴンなど環境への影響を議員に認識してもらい、『辺野古が唯一の解決策』が成り立たないことを認識してもらいたい」と書簡の趣旨を説明しました。

沖縄ドローンプロジェクトの奥間政則さん、全交の日南田成志さんは賛同の思いを語りました。蜷川からは「UCN での4度のジュゴン保護決議、米国連邦裁判所でのジュゴン訴訟などで、連邦裁判所は『海外の米軍基地建設が当該国の環境に影響を与えたなら審理対象となる』との判断を下した」と運動の到達点を説明。「今回の書簡で米国連邦議会は、米国政府に基地建設の真の原因を迫ってもらいたい」との思いを語りました。（事務局 蜷川義章）



地元紙で報道されました

交流広場

照屋三線倶楽部は、沖縄県具志川市（現在のうるま市）出身の照屋寛正先生の指導のもと、東京都品川区や大田区で毎週唄三線の稽古をしている三線倶楽部です。コロナ前は、地域の高齢者施設やお祭りでも演奏していました。

サンシンで広げたい ウチナンチュの平和への思い

照屋三線倶楽部は今年で活動歴 23 年になります。きっかけは映画「MABU」(マブイ)の上映会でした。プレ企画で地元の公園で子どもエイサーミニまつりを開いたことで、師匠の照屋寛正さんと出会いました。

「命どう宝」に象徴される、沖縄の平和を求める強い思いを知るには、先ず芸能をまねようという思いと、照屋先生のお父様の形見の三線で、一人でも多くのヤマトンチュに沖縄の伝統芸能を伝えたいという思いとがマッチ。やがて、文化芸能には人を変える力があると確信し、唄三線を通し「命

どう宝」「イチャリバチョーデー」という沖縄の心を広め平和なヤマトにしていきたいという思いを強くしていきました。

3・11の時は、照屋先生の強い思いで、毎月駅前で唄三線を演奏し3年で50万円以上の募金を被災地に送りました。また、毎年発表会を大きくして300人が入る区民会館のホールで行いました。しかし、他の生徒からは「なんで習っている私たちが、お客さんのために苦勞する必要があるの?」と強い反発もあり、三線の生徒会も崩壊するという挫折も味わいました。

しかし、今なお日本政府によって、ウチナンチュの平和を望む強い意志を踏みにじられ、琉球弧に米軍基地や自衛隊基地が続々建設されています。

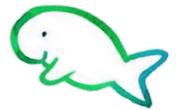
沖縄の平和の心を一人でも多くのヤマトンチュに広げ、この異常な状況を一日も早く止めさせたい、という思いを持つ先生や仲間と今日も三線を弾いています。

(東京都 北村純一)



照屋三線倶楽部のみなさん

命どう宝の思いを伝えたい!



知ってください! 広げてください!
辺野古・大浦湾 ー帯は日本初のホープスポット

ホープスポットとは海洋学者のシルヴィア・アール博士が立ち上げた NGO ミッションブルーが設定する海洋保護区のこと。2019年10月、辺野古・大浦湾一帯が日本初のホープスポットに認定されました。認定理由はこの海域の生物多様性や環境が素晴らしいからですが、毎年満月まつりを開催するなど、地域の方たちがこの海を大切に、守ってきたことも大きな決め手になったそうです。米軍基地という政治的な理由が絡んで、国が保護区にしようとならないこの海がホープスポットになったことは、とても意義深いことです。

世界に140あるホープスポットと連携したり、米国議会に働きかけたり、ホープスポット認定を艇子にできることがたくさんありそうですが、まだまだ世間に「ホープスポット」は知られていません。4月の第1回ジュゴンオンラインセミナー講師の安部真理子さんの「スタンディングなどでアピ

ール動画を撮って、#HopeSpotをつけて広げてください」という提案を受けて、色んな場所で出会った方の一言アピールをまとめてYouTubeにアップしています。ぜひご覧になって、SNSやメーリングリストなどで、シェア、拡散をお願いします。また、ご自身で撮ったアピール動画を広げていただけると、なうれしいです。みんなでホープスポットを守っていきましょう。(関西 山根富貴子)



辺野古・大浦湾
 ジュゴンの棲む海は
Hope Spot「希望の海」
 Henoko-Oura Bay
 Coastal Waters
 Japan's first Hope Spot
 Dugongs' Home

【6/22 月桃歌姫除幕式など沖縄旅で出会った方々のメッセージ動画】

<https://bit.ly/3TNiyUc>

動画はこちらから

【8/14 名護市東海岸の瀬高にできたホープスポット看板除幕式の動画 (英語字幕入り)】

<https://youtu.be/z45P0wWlyKQ>

動画はこちらから



「月桃」歌碑建立と沖縄県知事選 — ~こらむ・コラム~

6月22日、「月桃」の歌碑除幕式が西原町運動公園で行われた。続く祝賀会で「琉球讃歌」と「サン」を歌うと、駆けつけたジュゴン保護キャンペーンセンターの女神達が踊り出した。暑い日差しの中、ジュゴンも一緒に踊っている姿が白昼夢のように思い浮かぶ。翌23日の慰霊の日には西原町主催の「平和の集い」に出演後、読谷村楚辺の「艦砲め喰え一残さー」平和コンサートに出演した。この間、新聞やNHK、QAB、OTVなどの取材責めに会い、26日の琉球新報主催の復帰50年記念・佐渡山豊との「ゆたか・ゆたかコンサート」は笑い感動の拍手が満場の琉球新報ホールに溢れ、最後は「月桃」の大合唱でしめた。その時の愛のバイオリンとみちさの歌声が特段に良かったことを報告したい。

7月に入り、まだ「月桃」歌碑建立実行委員会には協力金がよせられていた。最終的には1400万円を超えることが確実になり、記念CDも制作。ご協力頂いた各社、各団体、各人にお礼に贈ることとした。それにしても復帰50年を迎えての今年は、さまざまな出版物、出版社からの原稿依頼が続き、大田昌秀顕彰須磨記念誌への寄稿などで体力を消耗した。日に日に衰えを感じる。そんな中、7月16日には4回目のワクチンを接種。翌17日には突然起き上がれなくなった。救急車でハートライフ病院に運ばれて入院。検査して、脳には異常なし。ただ肺にまで水が溜まっているとのことで、利尿剤が点滴され、尿は尿管から体外の袋に溜まるようになった。おかげで体中から水がひき、呼吸も楽になり、不整脈や心不全の恐れもなくなった。ただ、手足が枯れ細り、

動けず、天井を見つめたまま、7月22日中部徳洲会病院に転院。そこで分かった病名がギランバレー症候群。どうやら末梢神経がストライキを起こしたらしいが、ウイルスやワクチンが原因でなることが多いという。天井を見つめたまま、ひとしきりギランバレーの点滴を受け、後はリハビリを頑張ることになったが、なかなか好転しない。見るのは変な夢ばかりだった。米吉が誰かに連れられ、何処かへ行くようなので「米吉、行くな、こっちへ来い」と大声で叫んだら、看護師が「誰もいませんよ」と言ったのを覚えている。だが、予感はずだった。

米吉は、ペースメーカーを入れながらの政治活動に限界とし、県議会議長を最後に引退を宣言していた。しかし、オール沖縄を作ったのは米吉であり、周りが許すはずもない。結局、デニーの知事選の選対本部長を引き受け、8月1日、奥さんに先立たれた家で独り死んでいたという。あゝ、なんということだ…。知事選公示日の前日、デニーにメールした。ホープスポット除幕式のお礼を述べ、「デニーさん頑張ってください。明るくみんなをリードして下さい。龍宮神ジュゴンは琉球の守護神・デニーさんの守護神です」と送信。即「豊さん、ありがとうございます。頑張ります」と返事が来た。翌日、デニーは選挙戦の第一声を米吉の故郷平安座島が見える屋慶名の海岸で発してくれたが、米吉も喜んでいると思う。

現在私は、8月16日にリハビリ専門の病院に転院後、日々復帰を目指して頑張っているの、ご安心下さい。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

① わんさか通信 ★ ジュゴンの ②

ホープ スポット

HOPE SPOT「希望の海」

今年4月記念すべきオンラインセミナー第1回目のテーマがHOPE(ホープ) SPOT(スポット)「希望の海」でした。日本で初めて辺野古、大浦湾一帯が重要な海域であると認定されたというお話を聞き、その時にこのホープスポットを広げる為の看板を設置する計画が進行中だと知りました。

その看板がなんと完成したのです♪8月14日お披露目の除幕式に参加してきました。

玉城デニー県知事、瀬嵩区長、日本自然保護協会の大野さんの挨拶のあと、瀬嵩の浜で1999年から開催されている満月祭りに参加し続けている海勢頭バンド、平和を願いピースキャンドル行動を長年続けてきた双子の姉妹による祝いの歌と続きました。

地元住民や認定の為に働きかけてきた方々、この生物多様

性に富む海を守りたいと願う人達約50人が見つめる中、カラフルで素敵なお看板が現れました。大きく中央と左右に3匹もジュゴンが描かれていますよ。

この後海岸に出てきれいな海を眺めました、その右手には辺野古の埋め立て船が浮かんでいる・・・ホント邪魔だなあ。

宝の海を知ってもらい新基地建設埋め立て中止へと希望が繋がりますように。(中縄 小平裕美)



希望の海も景観も壊す埋立船



INFORMATION



<全国・首都圏>

- ・ 第3回オンラインセミナー
ジュゴンの海とやんばるの森を守るための国際的取り組み
～日本初のホープスポット辺野古の海を守ろう！
やんばるの森を真の世界遺産に！～
講師：吉川秀樹さん
(SDCC 国際担当、Okinawa Environmental Justice Project)
10/9 14時～15時30分 (詳細は本面に別途記載)
- ・10/23(日) 団結まつり 11時～15時 亀戸中央公園
- ・11/25 対政府交渉 防衛省・外務省 環境省

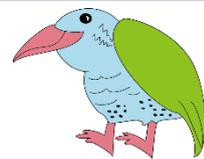
《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・10/16 京橋街頭署名行動 14:00～15:00 京橋-OBP 陸橋
- ・10/30(日) 団結まつり 11時～15時 扇町公園
- ・11/19-20 自然史フェスティバル 9:30～16:30
大阪市立自然史博物館(長居公園内)
- ・11/27(日) ひらかた多文化フェスティバル
ニッパーク岡東中央(岡東中央公園) 10:00～15:00



第3回オンラインセミナー



ジュゴンの海とやんばるの森を守るための国際的取り組み
日本初のホープスポット辺野古の海を守ろう！やんばるの森を真の世界遺産に！

講師：吉川秀樹さん (SDCC 国際担当、Okinawa Environmental Justice Project)

日時：10月9日(日) 14:00～15:30

参加費：500円

配信方法：YouTube チャット機能で質問を受け付けます

申し込み方法：info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、参加費500円を振込んでください。
入金確認後 YouTube の配信アドレスをお送りします。

振込先：下記ジュゴン保護キャンペーンセンターゆうちょ口座

締め切り：当日の視聴希望の方は、10月7日(金)までにお振込みください。

終了後一か月間アーカイブ視聴できます。



吉川秀樹さん

Hope Spot(希望の海)をまもる署名にご協力をお願いします

11月25日の政府交渉での提出に向け、Hope Spot(希望の海)を守る署名を集めています。目標は5万筆。

ネット版のURLは以下です。右のQRコードからもアクセスできます。

<https://bit.ly/3PHj82O>



Editor's Note

9月10日11日の両日、神戸で開催された「表現の不自由展 KOBE」に実行委員の一員として参加した。「平和の少女像」の隣に座った。少女の見つめる先は戦争のない未来だ。辺野古新基地を止めよう。(M)



会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 〇一九支店

口座番号 当座 0660199

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.124 2022年9月27日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 (連絡は以下のメール)
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース
302号

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！



SDCCのwebsite
<http://www.sdcc.jp/>
には、左記QRコードより
アクセスできます